

全国植樹祭の招致に関する決議案

全国植樹祭は、我が国の社会経済情勢や森林・林業をめぐる情勢が変化する中で、森林資源の造成、自然環境の保全、森と人との共生など、それぞれの時代に即したテーマを掲げてきており、緑豊かな国土を形成していく上で重要な役割を果たしている。

本県では、昭和 55 年に「緑と太陽豊かなくらし」をテーマに全国植樹祭が開催されて以来、40 年以上が経過し、生活様式の変化や山村の過疎化の進行などにより、私たちの暮らしと森林や木材との関わりが次第に希薄化し、森林資源の循環利用を支えてきた林業や木材産業も大きな影響を受けるなど、本県の森林を取り巻く状況は大きく変化している。

こうした中、全国植樹祭を再び本県に招致することは、森林や林業の重要性を再認識するとともに、三重の素晴らしい自然を育んできた価値観を次世代と共有していく機会となり、生物多様性の保全や地球温暖化の防止をはじめとした森林の持つ多面的機能のもとで、県民の暮らしや経済がともに持続可能で豊かな社会を築いていくための気運を高める上で極めて意義深いものである。

よって、本県議会は、全国植樹祭を本県に招致することを強く求める。

以上、決議する。

令和 年 月 日

三 重 県 議 会